



平成15年2月25日発行
通巻51号

各分野のネットワークから



地域に創ろう 子育て支援ネットワーク!!

子育て支援キャラバン(地域子育てサポートシステム
基盤整備事業)を紹介します。



紀南地域第1回研究会の様子。

《目的》

子育てに夢と希望のもてる社会づくりをめざし、三重県内69市町村それぞれの地域の実状にあった、生活者基点の子育て支援のためのサポートシステムを創設する基盤整備に取り組む。

《理念》

“子どもは社会の宝”であるという視点に立って、一人ひとりがもつ命の尊厳に目を配りながら、“まちの人”と行政がお互いに協力し合う(協働)ものとした。

《事業の種類》

- 1 地域子育て支援ネットワークの構築(子育てに関わる機関、団体、個人が連携を取り合う)
- 2 地域子育て情報提供システムの構築(子育てに関わる情報の発信をスムーズにする)
- 3 地域子育て支援サポートシステムプランの作成(1・2を形にするための計画づくり)

《事業の手法》

- 1 地域実態調査(対象:市町村行政/NPOほか 方法:調査シートによる記述式 目的:取り組みを把握する)
- 2 地域実態調査(対象:地域子育て支援センター 方法と目的は1と同じ)
- 3 ニーズ調査(対象:3歳児の保護者ほか 方法:調査シートによる記述式 目的:望まれる姿を把握する)
- 4 研究会の開催(対象:市町村行政/NPOほか 方法:会議形式による意見交換 目的:望まれる姿に近づける)

※県内9県民局管内の市町村を対象に各県民局で3

回、計27回開催(初年度実施予定)

《その他》

1実施期間:3か年計画 2主催:三重県 3初年度は、市町村行政を中心に事業を展開しています。

※この事業は三重県健康福祉部こども家庭チームが担当しており、プロジェクトには、評議会、オブザーバー会議を設置しています。オブザーバー会議には、三重県教育委員会社会教育推進チーム、三重県生活部勤労福祉チーム、私学振興チーム、男女共同参画チーム、健康福祉部改革協働支援チームから1名ずつが参加して連携を取り合っています。

●問い合わせ先

特定非営利活動法人久居市子育て支援ネットワークNPOどんど

514-1118 久居市新町3006ポルタひさい1階
Tel.059-254-6080 Fax.059-254-6090
E-mail dondo@pasoya.jp
ホームページ
http://www.pasoya.jp/~dondo/

子育て支援キャラバン事務局 上記、NPOどんど内
E-mail caravan@pasoya.jp
ホームページ
http://www.pasoya.jp/~caravan/

委員まちのファンクラブ 設立準備会のご案内

「ひとりひとりにはあまり負担のかからない形で、多くの人たちと、大きく、ゆるやかに、つながっていきたい」ということで、「より多くの方々との、ひろがりあるネットワーク構築に向けて、まちのファンクラブを立ち上げたい」と、今年にはいって二回の準備会を持ちました。1回目は38名、2回目は42名の方たちが集まり、熱気にあふれ、わいわいと楽しく準備会を進めることができました。ひきつづき、第3回、第4回設立準備会を開催いたします。みなさんどうぞおいでください。詳細は下記のホームページをご覧ください

【第三回設立準備会】

●とき/3月6日(木) PM7:00~PM9:30
●ところ/員弁町コミュニティプラザ(員弁町楚原940
Tel.0594-74-4144)

【第四回設立準備会】

●とき/3月28日(金) PM7:00~PM9:30
●ところ/桑名市中央公民館(桑名市中央町3-44
Tel.0594-23-4103)
●問い合わせ先/511-0068 桑名市中央町1-8
市民活動共同センター Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733 ホームページ
http://www.miraiwork.jp/fanclub

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

◆発行◆

514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail open@mienpo.net
県NPOチームホームページ
http://www.mienpo.net/
三重県のホームページ
http://www.pref.mie.jp

市民活動ニュースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバース3階)/市民活動情報ネットワークずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市黒瀬町1323-4)/鳥羽NPOネットワークセンター・結(鳥羽市鳥羽1-3-8)/市民活動共同センター(桑名市中央町1-8東和ビル内)/四日市市民活動センター(四日市市郷町4-17)/アミ・ノット・スペース内(特)地域づくり券券みなど(四日市市川原町26-13)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウィリアム テルス・アップル まちづくりセンター(上野市福居町3317番地)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/上野市中央公民館/上野市立図書館/上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀@LAN事務所/上野青年会事務所/名張市立図書館/名張青年会事務所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリソート 赤目の森(名張市上三谷268-1)/明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5)/松阪大学(松阪市久保町1846)
【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店
【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13)/三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県女性センター/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場

イベントスケジュール

いっしょに考えてみましょう、わが家のこと わがまちのこと
「住まいの語り部研修会」と「住まいの耐震化等地域説明会」

地域住民のみなさんと建築技術者のつながりはどうあるべきでしょうか。また、住まいを地震に耐えるようにするにはどうするのでしょうか。これらを考える会を以下のとおり開催します。

【住まいの語り部研修会】

●とき/3月5日(水) PM1:20~PM4:45

●ところ/三重県教育文化会館 5階大会議室

●内容/京都大学助教授、布野修司さんによる基調講演「タウンアーキテクトの役割と可能性(仮題)」。(社)静岡県建築士会静岡地域貢献活動センター助成技術情報特別委員長の木村精治さんによる「静岡県建築士会の地域貢献のしくみと事例(仮題)」。

●募集人数/150人定員。当日先着順

【住まいの耐震化等地域説明会】

●とき・ところ/2月26日(水)県熊野庁舎(熊野市井戸町371)

2月28日(金)県民サービスセンター(津市栄町一丁目954)

3月3日(月) 県鈴鹿庁舎(鈴鹿市西条五丁目117)

※伊勢会場は2月24日に終了。

●内容/市町村向け(PM4:15~PM4:45)として県制度や予算の説明を行います。技術者向け(PM4:45~PM5:45)として、話し方ノウハウ、ワークショップとは、住宅外観調査と結果報告会の企画を説明。PM6:30~PM7:45には、住民のみなさん向けに地震と耐震のはなしや耐震診断と補強について説明を行います。なお、県住宅チーム発行パンフレット『住まい安全安心21通信』を当日配布。また、手回し携帯振動台「ぶるる」実演・ビデオ上映もを行います。

●主催・問い合わせ先/三重県県土整備部住宅チーム住宅計画グループ Tel.059-224-2720

ホームページ <http://www.sumai-mie.jp>

みんなで掃除しよう!! お城公園

●とき/3月15日(土) PM1:30~PM2:30

(雨天22日に延期)

●ところ/津お城公園噴水周辺

●内容/クリーン&グリーンは「きれいなところできれいなお花見を。未来の地球にたくさん緑を」を目指し、健康者と障害者が力を合わせて掃除をするボランティア団体。第1回目の活動を始めるにあたり、一緒に掃除して下さる方を募集中。飛び入り参加もOK。

●申込・問い合わせ先/クリーン&グリーン(代表:小野寺厚)

Tel.059-237-5130,090-6338-1988

E-mail mcd_okmr@yahoo.co.jp



平成14年度 内閣府国際青年交流事業報告会

●とき/3月15日(土) PM3:00~

●ところ/アスト津3階 交流スペース(津市羽所町700)

●内容/平成14年度の内閣府国際青年交流事業参加青年が、事業に参加してどのようなことを吸収し、学んだのか、帰国報告を行います。そのほか、各事業の概要説明や、参加者選考試験に向けてのアドバイス等が予定されています。平成15年度以降に、内閣府主催の各事業(航空機による青年海外派遣、日韓青年親善交流、日中青年親善交流、世界青年の船、東南アジア青年の船)に参加を希望されている方は、ぜひお越しください。事前申込は不要です。

●問い合わせ先/平成14年度「世界青年の船」参加 紀平卯一郎
Tel.090-2959-0627 E-mail kihira@poppy.ocn.ne.jp

●問い合わせ先/平成14年度「世界青年の船」参加 紀平卯一郎
Tel.090-2959-0627 E-mail kihira@poppy.ocn.ne.jp

デザイン月間協賛事業

“みえデザインネットワークを考える”フォーラム2003

「みんなで三重のグッドデザインを語ろう。」

●とき/3月16日(日) PM1:00~PM7:30

●ところ/伊勢河崎商人館・角吾座(伊勢市)

●参加費/無料(わいわい・パーティーは会費制2000円)

●内容/みんなで“三重のグッドデザイン”を自由に語り合いながら、つなぎ手発想でユメをカタチにできるような仕組み…みえデザインネットワークの可能性を一緒に考えてみませんか。

【プログラム】

1・わくわくレクチャー「デザインの今までとこれから」(講演)

2・とことんトーク「三重のグッドデザイン」(全員参加型)

3・わいわいパーティー(交流会)の3部制。

●募集人数/80人(多数の場合は抽選)

●応募締切/3月5日(水)

●申込方法/氏名、住所、電話番号、参加プログラムをご記入の上、下記まで郵便、Fax、E-mailにて申込。(事前申込制)

●主催・申込・問い合わせ先/三重県科学技術振興センター工業研究部生活技術開発グループ 514-0819 津市高茶屋5丁目5-45 Tel.059-234-1968 Fax.059-234-3982

E-mail mdn@mie-iri.tsu.mie.jp

第2回 緑のネットワーク交流会みえ

●とき/3月16日(日) AM10:00~PM3:00

●ところ/津地方県民局庁舎大会議室、

63,65会議室(6階) ●参加費/無料

●内容/市民団体、企業、行政、県民が互いに意見や情報を交換し、相互に理解と連携を深める場として、交流会を開催します。官主導型から民主導型への移行を内外に宣言するとともに、民主導型の新たな「緑のネットワーク形成」の出発点となるこの交流会では、活動事例報告の他、3つのテーマに分かれて分科会を行います。参加対象は自然と調和した環境を保全・創造する活動をしている、もしくはしようとしている市民団体、企業、行政及び個人です。

●主催・問い合わせ先/緑のNPO活動支援センター(担当:高橋、福田) 510-0304 河芸町大字上野3258番地 (財)三重県環境保全事業団内 Tel.059-244-1011 Fax.059-244-1010 E-mail fvbs7920@mb.infoweb.ne.jp



MIEC21(三重国際交流団体連絡会)3月行事案内

●とき/3月21日(金・祝) PM2:00~PM4:00

●ところ/アスト津3階 ミーティングルーム4(津市羽所町700)

●内容/カナダ出身のピーターさんのお話から、カナダの理解と男女共同参画のありかたについて学びます。国際交流に関心をお持ちの方、参加自由です。

●申込・問い合わせ先/津市河辺町2488 藤田正男

Tel.&Fax.059-227-2392 E-mail mkomoda@zvtv.ne.jp

桑員まるごとエコパーティー

桑員1市8町の
エコみなさん集まれ!

●とき/3月21日(金・祝)

PM1:00~PM3:30

●ところ/員弁町コミュニティプラザ(員弁町楚原940)

●参加費/1000円(ミニプレゼント、投票権、軽食付)

中学生以下無料)

●内容/「このまちが大好きだ」「エコに遊びたい」「自分のエコな活動を誰かに伝えたい」「このまちの環境のことを知りたい」というみなさんに集まってもらい、つながりを持ってもらうことを目的に行います。プログラムは「カップのおじさんが語る200万年前のこの地域」「参加費競争プレゼン大会」「1市8町味めぐり、つながりパーティー」「みる・つくる展示体験コーナー」などです。

●主催・申込・問い合わせ先/桑員エコリーグ事務局(北勢県民局企画調整部桑名市駐在) Tel.0594-24-3600

Fax.0594-24-3795 E-mail wkikaku@pref.mie.jp

ホームページ <http://www.miesc.ne.jp/souin-eco/>

NPO法人 Arts Planet Plan from IGA

春季会員作品展 ~はるのかたち展

●とき/3月23日(日)~30日(日) AM10:00~PM6:00

●ところ/青山町公民館2階中ホール

(名賀郡青山町阿保1411番地)

●内容/地域住民の方々には本法人を知っていただくとともに、Artist in Residence at IGA 2003の開催を広報します。また、会員相互の親睦・交流を図ることも目的に開催します。

【関連行事】

『造形ワークショップ[フェルト造形入門]』

●とき/3月29日(土) AM10:00~正午(午前の部)

PM1:00~PM3:00(午後の部)

●内容/対象者はものづくりに関心のある方で小学生以上の方(小学生は保護者同伴でお願いします)参加費は300円、当日、随時申込制で行います。濡れても良い服装(エプロン)、皮膚が過敏な方は防

水手袋を持ってきてください。

『ギャラリーコンサート』

●とき/3月29日(土)PM5:00~PM6:00

●内容/名張市在住の板原進さんによるバリトン独唱と、板原恵理さんのアイリッシュハーブのコンサートです。入場は無料ですが、会場が一杯になり次第絞切ます。

【ボランティア募集】

会場設営や展示スタッフ、会場当番、広報活動スタッフなどなど。時間も分野もいろいろです。可能な範囲でご協力ください。時間や分野などの詳細は下記までお問い合わせを。

●申込・問い合わせ先/518-0205 名賀郡青山町伊勢路字青山1381番地の77 NPO法人Arts Planet Plan from IGA(代表理事:森田耕太郎) Tel.&Fax.(186)0595-53-1077(非通知設定ではつながりません)

カウンセリング実践研修会

●とき/3月23日(日)AM10:00~PM4:00

●ところ/生涯学習センター4階大研修室(津市一身田上津部田1234 三重県総合文化センター内)

●参加費/3000円 ●募集人数/60人

●内容/子育て講座、学校の講演会などで、子どもや身近な人々と心が通じ合う具体的な関わり方を伝える「実践カウンセリング入門、体験学習」の内容で1日研修会を開催します。暮らしに役立つカウンセリングをじっくり体験できる機会です。また、継続的に学びたい方のために月1回、1年間の講座もあります。お問い合わせください。

●申込方法/電話、Faxにて下記まで。定員になり次第締切。

●主催・申込・問い合わせ先/NPO法人みえ親子・人間関係研究会 Tel.&Fax.059-246-5562、059-227-4619

吟行句会 と 俳句&英語HAIKU募集

【吟行句会】

●とき/3月23日(日)AM10:00~PM3:00

●ところ/河崎商人館(伊勢市) ●参加費/2000円

●内容/俳句とHAIKUを楽しむ伊勢俳句ソサエティと紙面でHAIKUを紹介しているThe Mie Timesは、妻入りの町家と土蔵の並ぶ河崎のまちなみを散策する吟行句会を行います。午前中はボランティアガイドの案内でまちなみ散策。午後から句会となります。

●申込・問い合わせ先/伊勢俳句ソサエティ(担当:井本)

Tel.0596-24-8132

The Mie Times(担当:伊藤) Tel.0596-25-2511

【俳句・英語HAIKU募集】

●応募締切/3月20日(祝・金)

●内容/テーマは「河崎のまちなみ」または「まちなみ」。俳句も英語HAIKUも3句以内で応募してください。英語HAIKUの作り方は一つの季語、三行、17音節以内です。作品は選句した後、特選句に英訳を付けThe Mie Times、ホームページに掲載するほか、河崎商人館にも掲示します。

●申込方法/住所、氏名、電話番号を明記の上、下記までハガキまたは封書で送付。

●申込・問い合わせ先/516-0077 伊勢市宮町1-11-4 ミエタイムズ Fax.0596-25-4675 E-mail tmt@e-net.or.jp ホームページ <http://www.e-net.or.jp/user/tmt>

松井朝子のオリジナル パントマイム~KIMONOマイム~

●とき/3月29日(土)PM1:30開場 PM2:30開演

●ところ/伊勢市観光文化会館(伊勢市岩瀬1-13-15

Tel.0596-28-5105)

●入場料/大人前売3000円・当日3500円

高校生以下前売・当日共1500円(全席自由)

●内容/子どもから大人まで、身体で表現する事の楽しさ、心を通じ合う事の素晴らしさをパントマイムの空想と想像の世界の中で、感じてください。第1部では、目に見えないものがあるように見えるパントマイムの空想の世界を、初めてパントマイムをご覧になる方にもわかるように演じます。第2部では、日本文化を生かした松井朝子オリジナル作品「KIMONOマイム」の中からいくつかを公演します。

●応募締切/3月28日

●申込方法/郵便局の払込書にて、下記まで振込む(払込時の受領書を入場券とします)か、風の広場またはみやがわ書店で直接購入してください。

郵便振替口座:00810-8-6798 加入者名:ピスターリの会

●問い合わせ先/風の広場 度会郡御園村高向682

(近鉄宮町駅東口前) Tel.&Fax.0596-29-0325

みやがわ書店 度会郡小俣町本町163(JR宮川駅前)

Tel.&Fax.0596-22-4317

高橋 Tel.090-8677-9885

NPO法人三泗地区子ども劇場センター第13回高学年文化芸術体験

演劇「エデンの東」

●とき/3月29日(土)PM7:00、30日(日)PM3:00

●ところ/四日市市文化会館第2ホール

●特別会員券/大人3500円 子ども(小3~高3)2000円

●内容/劇団パノラマ☆アワーと青少年の共演による演劇「エデンの東」。9月8日のオリエンテーションから、6回のワークショップと3月からの集中稽古を経て舞台上がります。表現することの大切さを掴んだ彼らのいきいきした姿と、素晴らしい作品を見てください。

●問い合わせ先/NPO法人三泗地区子ども劇場センター Tel.&Fax.0593-51-6367 E-mail sansic-c@cello.ocn.ne.jp

NPO俳句みえから

【やさしい俳句スクーリング開講記念 ライブ・ハイク】

●とき・ところ/4月1日(火)PM1:00~PM3:00 鳥羽市民会館

4月4日(金)PM1:00~PM3:00 伊勢市観光文化会館

4月7日(月)PM1:00~PM3:00 名張市中央公民館

4月14日(月)PM1:00~PM3:00 松阪市産業振興センター

4月18日(金)PM1:00~PM3:00 鈴鹿市文化会館

4月22日(火)AM10:00~正午 アスト津3階

4月23日(水)AM10:00~正午 ポルタひさい3階

4月24日(木)AM10:00~正午 四日市市文化会館

6月4日(水)PM1:00~PM3:00 桑名市民会館

●参加費/無料

●内容/あなたの俳句がメロディーと絵になる「俳句と絵と音楽」のコラボレーション。俳句スクーリング講師は光野及道さん、ミュージシャンは赤井薫さん、グラフィックデザイナーは玉井ゆかりさんです。『スケッチマン募集』

気楽に絵を描いてくれる女性を募集しています。画材料は当会で負担。ただし、用具はお持ちください。出演料(旅費)を1回5000円お支払いいたします。

【2003年新学期 初歩の初歩やさしい俳句スクーリング生募集】はいくを始めてみようという人の講座です。資格は1年間続けられる人。講座の他、楽しい吟行会もあります。

●とき・ところ/名張市中央公民館 第1月曜日 午前・午後の部

鳥羽市民会館 第1火曜日 午前・午後の部

四日市市文化会館 第4木曜日 午前の部

鈴鹿市文化会館 第3金曜日 午後の部

アスト津3階 第4火曜日 午前の部

ポルタひさい3階 第4水曜日 午前の部

松阪産業振興センター 第2月曜日 午前・午後の部

伊勢市観光文化会館 第3土曜日 午前・午後の部

午前の部...AM9:30~AM11:30

午後の部...PM1:30~PM3:30

●参加費/無料(教材費300円程度と会場費実費は必要です)

●募集人数/各20人(定員なり次第、締切)

●主催・申込・問い合わせ先/NPO俳句みえ事務局(光野)

Tel.059-255-2651 ●共催/俳句スクーリング実行委員会

地球環境&平和講演会 平和な世界を子どもたちに

●とき/4月5日(土)PM1:00開場 PM1:30~PM4:30

●ところ/三重県男女共同参画センター多目的ホール

(津市一身田上津部田1234 三重県総合文化センター内)

●参加費/前売1000円(当日券も有) 託児は要予約・有料。

●内容/『地球村』とは国連などが提唱している『地球と調和する社会』『平和な社会』のことです。『平和な社会』とは、環境破壊だけでなく、飢餓や貧困、戦争や差別などすべての不幸のない社会です。『平和な社会の実現』には、それを願い、行動する人「グリーンコンシューマ」が増え、その輪を広げていくことが大切だと思います。

ネットワーク『地球村』は環境問題だけでなく、福祉や人権などを含めた、平和な生き方をするグリーンコンシューマのネットワークです。この講演では代表の高木善之さんにお話しいただきます。

●申込方法/郵便振込でも申込みます。通信



欄に「4月5日参加費」と記入し、下記まで振込んでください。受領書を当日受付にてチケットと引き替えます。
郵便振替口座:00840-5-81155 加入者名:ひさい『地球村』
●主催・問い合わせ先/ひさい『地球村』
石田 Tel.090-9928-2774 宮崎 Tel.090-1239-7512
柏井 Tel.090-6337-2377

チェルノブイリ17周年救援講演とコンサート

●とき/4月20日(日)PM1:00開場 PM1:30開演
●ところ/アスト津4階 アストホール(津市羽所町700)
●入場料/大人1000円 高校生以下500円
●内容/菅谷昭さんによる講演「チェルノブイリの子どもたちと国際医療協力」と、ナターシャ・グジーさんによるバンドゥーラ演奏と歌、三重の高校生からの友情メッセージを行います。
●主催・問い合わせ先/三重チェルノブイリ被曝児童救援募金(代表:佐藤) Tel.&Fax.059-225-3803
●後援/外務省、ベラルーシ大使館、ウクライナ大使館、ルフトハンザドイツ航空、三重県、三重県教育委員会、三重県国際交流財団

みなさんへのお知らせ

【NPOチームから】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は3団体ありました。

引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO担当及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●認証申請団体

(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
(1)特定非営利活動法人ホープ21(2)河合良雄(3)四日市市新正四丁目14番13号/
(1)特定非営利活動法人いきがい町づくり事業団(2)廣島 浩(3)上野市八幡町3222番地の1/(1)特定非営利活動法人ITサポート三重北(2)河合由美子(3)員弁郡東員町大字長深2571番地 (平成15年1月16日~平成15年2月17日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

特定非営利活動法人エヌピーオーイーエム(平成14年12月16日)/特定非営利活動法人クロスポイント(平成15年1月20日)/特定非営利活動法人ふれ合い広場アトホーム(平成15年1月6日)/特定非営利活動法人JAA(平成15年1月16日)/特定非営利活動法人くさのね(平成15年1月8日)/特定非営利活動法人かがやき(平成15年1月23日)/特定非営利活動法人よりあい(平成15年1月27日)/特定非営利活動法人ケアハウスこころ(平成15年1月16日)/特定非営利活動法人倭恒常園(平成15年1月31日)/特定非営利活動法人三重県人権・部落史研究交流会(平成15年2月3日)/特定非営利活動法人小亀の家(平成15年2月6日)/特定非営利活動法人三重のえみ(平成15年2月3日) (平成15年1月16日~平成15年2月17日届出分)

助成金 ニュース

財団法人まちづくり市民財団

●受付締切/3月1日(土)~3月31日(月)必着

【まちづくり助成金】

●助成の目的/「パートナーシップによるまちづくり」を基本テーマとして、「働き、生活する地域に「誇り」を持ち、地域固有の歴史や文化・自然を大切にしたいまちづくり」を実践する市民活動を応援します。

●助成の対象となる活動/地域振興、地域活性化の向上を目的に市民主導で行う以下の活動に対して助成を行います。

1. 郷土の遺産(産業遺跡・歴史的建造物など)の保存・活用
2. 郷土の民話、伝統芸能・技術・工芸の伝承と後継者の育成
3. 地域の自然環境の改善
4. 地域の生活環境・都市景観の改善(街並み、街路樹、歩道、公園、用水路など)
5. まちづくり市民意識の高揚に資する活動(イベント、講演会など)

ただし、原則として青年会議所単独の事業は助成の対象となりません。

●対象事業の期間/平成15年4月1日~平成16年3月31日

●助成の額/1件50万円を限度とし、事業内容等選考のうえ金額を決定。

【アウトドア・クラスルーム事業登録】

●助成の目的/「わたしの「まち」を美しく。自らのまちを愛し、美しくしたい」という素朴な気持ち。身近な所から、いろんな仲間とつくり上げていく楽しさ。そんな、まちづくりの原点ともいえる活動を応援していきます。まちづくり市民財団のネットワークによる、適切なアドバイスや情報交換・交流、発信を通じ、「ま

ち」を美しく変えて行く活動を全国に広げていきます。

●助成の対象となる活動と団体/以下に該当し、活動しようとする、またはすでに活動しているグループや団体。

1. 「提唱型」ではなく「実施型」であること。
 2. 将来のまちづくりを担う子どもたちが中心となって実施される事業であること。
 3. パートナーシップの精神で、できるだけ様々な人たちの参加があること。
 4. 単なるガーデニングや個人的喜びに終わるものではなく、まちの景観づくりを通じ共にまちづくりの素晴らしさを体感できる事業であること。
 5. 継続事業であること。
- 支援内容/1. 事業計画をもとに「まちづくり市民財団登録事業」の証(プレート)を発行。
2. 企画費・記録費として10万円を交付。
3. 必要に応じ企画などの相談対応。
4. 関係情報誌などで優秀事業を発表予定。
5. 希望があれば各種の情報交流事業に参加できます。

●応募方法/「助成金交付申請書」または「登録申請書」を下記まで請求するか、ホームページからプリントアウト。必要事項を記入したあと必要書類を添付して郵送。「まちづくり助成金係」または「アウトドア・クラスルーム事業登録係」とそれぞれ明記し、分けて送付すること。

●問い合わせ先/(財)まちづくり市民財団 102-0093 東京都千代田区平河町2-14-3 日本青年会議所館内 Tel.03-3234-2607
Fax.03-3234-5770 E-mail machizkr@interlink.or.jp
ホームページ <http://home.interlink.or.jp/~machizkr/>

国際ボランティア貯金の寄附金配分団体公募

●受付期間/3月3日(月)~31日(月)

●助成の対象となる団体/1. 日本国内に事務所を置き、かつ、代表者が定められ、意思決定及び活動の責任の所在が明確な団体とします。

2. 海外援助事業を実施する営利を目的としない民間の団体とします。

●助成の対象となる活動/開発途上地域の人々の福祉の向上に寄与するための援助事業で、次の条件を満たすもの。

1. 援助事業の対象地域の状況や人々のニーズを十分把握し、反映したもの。
2. NGOのスタッフが、申請援助事業の対象地域に出向くなど、当該地域の人々に対して、直接活動を実施するもの。平成15年度においては、日本からの派遣スタッフなどが最低でも2週間以上現地でも活動することが配分事業の要件となります。

3. 援助事業の対象地域の人々に技術を指導するなど、当該地域の人々の自立を支援するもの。

●対象事業の期間/平成15年7月1日~平成16年6月30日

●助成の額/平成14年度以前からの継続配分団体は500万円。新規に配分する団体は200万円。新規に配分する団体のうち海外における相応の援助実績を有している期間が1年未満の団体(実績のない場合を含む)は100万円。

●応募方法/「配分申請書」及び「配分申請書の記入要領」のほか、「国際ボランティア貯金の寄附金の配分申請などに関するご案内」などは、配達事務を取り扱う郵便局(集配郵便局)で配布。ホームページからもダウンロードできます。申請書は申請団体が所在する地域の集配郵便局に提出してください。

●問い合わせ先/郵政事業庁貯金部管理課ボランティア貯金担当(担当:中野課長補佐、森田係長) Tel.03-3504-4137 Fax.03-3580-5139
ホームページ <http://www.yu-cho.yusei.go.jp/volunteer-post/>

ヤマト福祉財団 障害者福祉助成金

●受付期間/3月1日(土)~3月31日(月)消印有効

但し、奨学金の供与受付は5月10日(土)まで

●助成の対象/障害者の自立と社会参加及び生産力アップなどに直結する事業。

【1. 一般助成】

- (1) 障害者施設の改善、整備、備品などの購入に対する助成。
- (2) 各種会議、講演、研修事業に対する助成。
- (3) 各種出版、啓発活動などに対する助成。
- (4) 各種調査、研究事業に対する助成。
- (5) 文化事業、スポーツ活動などに対する助成。

【2. ボランティア活動助成】

- (1) 各種会議、講演、研修事業に対する助成。
- (2) 各種出版、啓発活動事業に対する助成。
- (3) 文化事業、スポーツ活動などに対する助成。

【3. 障害のある大学生に対する奨学金の供与】

●助成の額/1は1件あたり上限100万円。2は1件あたり上限30万円。3

は月額5万円(返済の必要はありません)

●応募方法/1と2は助成金申請書を郵送にて申込む。3は奨学金申込書に必要事項を記入し、所定の書類を取り揃えのうえ、郵送にて下記まで。なお、奨学金申込書用紙は下記までFaxにて申込むこと。

申請書は下記まで請求するか、ホームページからダウンロードしてください。

●問い合わせ先/(財)ヤマト福祉財団(福祉助成金事務局)

104-0061 東京都中央区銀座2-12-15

Tel.03-3248-0691 Fax.03-3542-5165

E-mail y.zaidan@yamatofukushizaidan.or.jp

ホームページ <http://www.yamatofukushizaidan.or.jp/>

リコー中部(株)設立記念地域環境活動助成 グリーンプロモーション2003

●受付期間/4月1日(火)~5月12日(月)消印有効

●助成の目的/リコー中部(株)では、2001年12月の会社設立を記念し、リコー中部販売グループの社会貢献活動の一環として、中部の地域環境保全活動を実践する市民グループへの助成プログラムをはじめました。活動実績や団体の規模にこだわらず、グリーンプロモーションのパートナーとして、私たちの思いを実りある活動につなげていただけるグループのご応募をお待ちしています。

●助成の対象となる団体/リコー中部販売グループの販売地域(三重県ほか)で市民主導で環境保全活動を行う市民活動グループ。法人格の有無・規模・実績は問いませんが、行政や大学・企業などが主導のものは対象外。複数団体の合同、委員会形式を可としますが、責任主体を明確にしてください。

●助成の対象となる活動/環境保全に貢献するテーマ活動プロジェクト

●対象事業の期間/平成15年8月~平成16年3月(複数年にわたる継続的テーマは平成16年3月時点の目標が達成できることが条件)

●助成の額/1件あたり20万円を上限。最大で5テーマへの助成を予定。
※この助成金は、集まった「エコカード」の枚数(ポイント)により、実際の助成テーマ数を決定します(400エコカードポイントで1テーマに助成)。エコカードとは、当社のグリーン製品をご購入いただいたお客様の中で、グリーンプロモーションにご賛同いただいた方にご提出いただく賛同書です。グリーンプロモーションの助成金はリコー中部が用意しますが、実際の助成はエコカードが集まってはじめて実現します。エコカードをいただくために、社員一人一人がグリーンプロモーションの趣旨をお客様に伝えることで、企業の地域貢献への理解をすすめたいと考えています。

●応募方法/所定の応募用紙に必要事項を記入の上、郵送又はメールで下記窓口まで提出。(できるかぎりメールにてご応募ください。メールの環境がない場合でも、応募用紙の電子データがある場合には、3.5インチフロッピーにいれ、応募用紙とともに郵送してください)応募用紙はちらしのほか、リコー中部ホームページ(<http://www.r-chubu.ricoh.co.jp/ecology/green2003/doc/shinnseisho.doc>)からもダウンロードできます。

●問い合わせ先/NPO法人市民フォーラム21・NPOセンター(注意:リコー中部(株)ではありません) 450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南1-20-11 NPOプラザなごや(担当:吉田) Tel.052-586-1154

Fax.052-586-1174 E-mail kei_zzz@sf21npo.gr.jp
ホームページ <http://www.r-chubu.ricoh.co.jp/ecology/top/>

※三重県ではNPOマネジメント講座と併せた説明会を開催予定。
3月21日(金・祝)四日市会場(企画運営:地域づくり考房みなと)
3月23日(日)津会場(企画運営:あいむネット)

損保ジャパン記念財団 社会福祉助成

●受付期間切/4月1日(火)~30日(水)消印有効

●助成の目的/福祉活動を行う団体が、NPO法人格を取得、組織を強化し、社会的な信用を高めることにより、継続的に活発な活動を実践され、我が国の福祉の向上に大きく貢献していただくため。

●助成の対象となる団体/社会福祉の分野でNPO法人の設立を計画している団体。但し、平成15年度中に設立認証申請を行うことを原則とします。

●助成の対象となる活動/障害者、高齢者の主として在宅福祉に関する活動。

●助成の額/1団体30万円

●応募方法/申込書は下記に問い合わせるか、ホームページからダウンロードして入手。助成の申請は郵送で行ってください。

●問い合わせ先/(財)損保ジャパン記念財団(旧 安田火災記念財団) 160-0022 東京都新宿区新宿3-1-16 Tel.035919-0711
Fax.03-5919-0710 E-mail fvpg3340@mb.infoweb.ne.jp
ホームページ <http://www.sompo-japan.co.jp/foundation/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。

財団法人 助成財団センター
Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

北勢地区

特定非営利活動法人 地域づくり考房 みなと
510-0033 四日市市川原町26-13
Tel.0593-31-0713 Fax.0593-31-0719
常務理事 辻本晴美

「地域通貨」の説明をしてみても感じたこと

三重県名賀郡青山町別府というところに愛農高校があるのをご存知ですか?

就農準備校としてもう40年の歴史を持っています。社団法人全国愛農会という団体が、農業を愛する人、農業に生きる人々で、平和で明るい社会を実現しようとする活動の一環として設置されています。その愛農高校卒業生と農業従事者有志600名弱が集まって、全国愛農大会in広島が2月15日、16日東広島市で開催されました。私は、意見交流会の発題者として呼ばれ、地域通貨についての話題提供をしました。

今回のテーマ、スローライフ宣言in 広島「人が輝けば地域が輝く」について、

愛農会本部職員の田辺さんに、一言インタビューをしてみました。「今は、なんでも《早く、確実に》で本物が出来あがる時間が間に合わないほどのスピードが要求されるようになってしまった。スローライフという言葉は、イタリア語から来ているが愛農がずーとやってきたことだと気づいてもらえればいいなと思います。」とコメントをもらいました。

それで地域通貨の意見交流会ですが...

今「みなと」は市民活動の為の資金サポートと地域通貨を組み合わせたシステム立ち上げに取り組んでいるので、広報のチャンスと張り切って「のぞみ」に乗って、出かけました。(システムの広報

は、来月号に詳しく載せさせてもらいます。ヨロシク!)

参加者は、15名ぐらい、地域通貨ってなんだろうという人から、エコマネーを流通させているという人まで、様々。ちょっとどうしよう状態でした。まあとりあえず地域通貨のいろいろのカタチと、今までの試験運用の結果を説明しました。円ではなく、地域通貨を使うメリット(地域通貨は、持ってなくても参加できること、投機の対象にならないこと、などなど)、地域通貨は、目的ではなく、社会を循環させていく為の道具であることなど、何とか分かっていただけたみたいでほっとしました。実践者からは、もっと一つの事例に絞って説明してほしいといわれアバターという場面もありました。反省反省。参加者の中からまとめを発表してもらって、なんとかOKだったかなと思っています。ゲームを体験していただく早くご理解いただけるようなので、これから何回か体験の場所を作りたいと思っています。

また、お知らせしますので、ヨロシク。



テーマ別意見交換会(地域通貨)。

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。イベントを通じたまちおこしを出発点とし、現在は地域でのネットワークづくりに動いている郷司房夫さんはワークショップなどを企画・実施している「エンパワメントみえ」の志治さんを紹介してくれました。

自分の知ったことを、人にも伝えたい

……市民活動を始めたきっかけは？

15、6年前、子育て中に子ども劇場という団体に入りました。そこで自分の子だけでなく、地域の子どもを育てあうということを経験したのが最初。でもその時はまだ市民活動という言葉もなかったし、意識もしていなかった。市民が地域社会を変えていくということを意識したのは、その後、桑名市の講座で手話を習った時です。

……手話を習ったきっかけは？

今思うと錯覚なんですけど子ども劇場でたくさんの方とお話して、「話し尽くした」と思ったんです。それで次は、簡単にお話しできない人と話したいと思って手話を習いました。日本語以外の言葉を知りたいと英語教室へ行くのと同じノリでした。すごい偏見なんですけど、聴覚障がいの方はすぐに言葉が出ないので、きつと頭の中でいっぱい考えて、練りに練った言葉が手話となって出てくると思いこんでいたんです。この教室の講師が手話の技術を教えるだけでなく、聴覚障がい者の人権や運動についての情報をくださいました。それで、「自分で選択したわけでもないのに、この社会で不都合を感じている人がたくさんいる」と知り、他の人にもそれを知ってもらいたいと思いました。でもこの時は周囲の人に「聴覚障がいって思ったより大変なんだよ」とか、「手話は日本語を手置き換えたものと思われているけれど、実は独立した言語なんだ」と話す程度でした。

……自分から発信を始めたのは？

そのうち子どもも大きくなり、子ども劇場も退会した頃、子どもの学校で学級崩壊が起きたんです。解決策を探すため学校と家庭とで話し合いを持ったのですが、この時に「同じ日本語を使っているのに、どうしてこうも話が通じないのだろう」とびっくりしたんです(笑)。

……誰に通じなかったのですか？

学校と家庭間はもちろん、各家庭同士でも通じませんでした。それで子どもに関する言葉を一つひとつ定義して、共通認識を持てば、もっと話が通じるのではと思ったんです。それで「子どもと歩む大人の勉強会」というのを、初めて自分で立ち上げました。初めは学校と同学区の親に呼びかけて、隔月で開催しましたが、その内、範囲は市全体に広がりました。この時にCAPみえと出会いました。

……CAPみえとは？

CAPというのは「Child Assault Prevention」の頭文字で、子

どもへの暴力防止をテーマに活動している全国組織の団体です。暴力を権利侵害と捉え、「誰にでも権利はある。自分の権利を暴力から守ろう」と子どもが自分で権利を守るように活動しています。さまざまなワークショップやプログラムがあるのですが、これを勉強するうちに「これは子どもだけに限って言えることじゃない。女性や高齢者、障がいを持つ人にも置き換えて使えるプログラムなんじゃないか」と思い、「エンパワメントみえ」をつくりました。CAPでは対象を子どもに絞っていますが、研修では障がいのある人や家族の問題などの勉強もします。そういった背景のなかで、子どもに働きかけるのがCAPプログラムです。でも背景の部分勉強するとそれを誰かに伝えないのはもったいない、伝えたいって思うんですよ。

ワークショップなどを企画・実施する「エンパワメントみえ」

……エンパワメントの意味は？

人は生まれながらにして素晴らしい力を持っています。でも、その力が外からの否定的な力を受けることで、だんだん見えなくなってしまふ。そんな状況の中で、実は私には素晴らしい力があるんだと気付いて、発揮するという意味です。三重県のキーワードにもなっています。また、気付いて発揮することを助けることをエンパワーすると言います。エンパワメントみえの活動はプログラムやワークショップなどの手法を用い、対象者をエンパワーしていくことが狙いです。

……グループの規模と拠点は？

拠点は桑名市ですが、要請があれば東海三県には伺っています。メンバーは賛助会員を含めて7人。依頼内容によって派遣する人は変わりますし、別の団体をコーディネートすることもあります。

……派遣する人が変わるのはなぜですか？

得意分野が違うからです。講演なら話が得意な人。ワークショップなら、ファシリテート能力のあるという具合。あと内容も子どもの問題、女性問題、障がいに関する問題が得意な人と、分かれています。

……ワークショップの具体例を教えてください。

メディアをきちんと読み解く力をつける、メディアリテラシーという分野があります。このワークショップでは「姉弟が仲良く遊んでいます。その内にだんだんとケンカになり、お母さんが仲裁にやってきました」という短いシナリオを5、6人のグループに渡し、小道具も言葉もなしに身振り手振りだけで年齢差、男女差を表現してもらいます。そうすると大抵のグループが弟を表す場合は車で遊んでいるフリを、女の子はスカートの裾を持ってスキップをして入ってきます。お母さんを表す場合はエプロンで手を拭きながら出てくる。これが一番わかりやすいというわけです。でも、そのイメージは一体どこで植え付けられたのでしょうか？それを振り返ってもらうのがこのワークショップのポイントです。

……そのワークショップで気付くことは？

手を拭きながら出てくるとお母さんとわかるけれど、他のやり方で表現するとわかりにくい。でも実際にお母さんがいつもエプロンで手を拭いているかと言えば、違いますよね。そこで、次の表現方法を考えてもらいます。つまり、自分の意識に気付いてもらうこと、次の方法を考えるという二つの意味があります。

……他の表し方の例はありますか？

お母さんではちょっと今、思い浮かばないんですけど「夫婦でテレ



ピを見ていました。夫が何もやってくれないので、妻が怒り出しました」という例文の時は、今年初めて二人と一緒にテレビを見ている光景ができました。今までは夫が寝転がってテレビを見て、妻は横に正座して洗濯物をたたんでいる…というばかりだったんです。

何をやるにしても、おおもとは人権。環境も、まちづくりもそれは同じです。

……私は個人的には並んで、テレビを見ていますけど…。個人的にはそうであっても、それが世間的に通用するかどうか。二人並んでいると夫婦か、友だちか、男女なのかかわからないんです。でもね、二人並んでテレビを見て、「これは夫婦だな」とみんながわかれば、それはもうジェンダーフリーの社会になったということですよ。そんな望ましい社会になっていけばいいんだけど(笑)。……他人の理解を得るために、その表現を選ぶこともあるのでは？ そういった場合もあるでしょうし、あえて説明をしない方法を採用する場合もあるでしょう。どちらが正しいとか、評価が問題なのではなく、自分がそれに対してどう考えるか、どう行動するかが大切なんです。あと、一番簡単に男らしさ、女らしさが現れるのは色の問題ですね。ピンクと青の付箋を用意して、色の指定をせずに「男らしいと思うイメージをこの付箋に書いてください」と言うと男らしいイメージには青の付箋を使うんですよ。それが面白いですね。……なぜ、その色を選んだのか問いかけるのですか？ 一応、聞きます。答えは「当然だと思っていた」とか、「似合うから」「好みだから」と、色々です。……それを糸口にして意識の中を解きあかしていくのですか？ 「別の考え方もあるんじゃないの？」という程度です。必ずしも男らしい・女らしいと言うことを否定はしません。ただ、他の考え方、表し方も世の中にはあるんだよと気付いて欲しい。もちろん、中にはそれが許せない人もいますが、許せない人もOKなんです。……プログラムの内容は誰が考えているのですか？ 私とメンバーの日比野が考えています。今はまだ、試しながらの段階ですが、やるからには何かを置いてくるよう強く意識しています。……技術はどこで身につけたのですか？ 基本はCAPの研修会です。あと国際理解のワークショップや、福祉教育の研修会など機会があればどこへでも出かけて、勉強しています。さまざまなワークショップをモデルに、一番訴えたいことを強調させたりなどバリエーションをつけて、つくっています。……メンバーへの指導は志治さんがされているのですか？ お互いに指導し、学び合っています。有償の活動ですから、それに見合う以上のものを提供しないといけないんです。ですからトレーニングの積み重ねは必要です。……手順などはテキストにまとめているのですか？ 最近、ワークシートに整理し始めました。手始めにつくったのが、子どものことを愛しているのに手を上げてしまうお父さん、お母さんのためのワークシート。今度、これを使ったワークショップを鈴鹿市で開催します。ワークシートがあれば、私以外の誰でも指導に行けます。指導者が増えるというのはグループの発展に繋がりますからね。

勉強したことを、実際に体験

……とても知識が豊富ですが、お仕事は？ 昨年4月から学童保育所でパートをしています。理由は子どもにつ



県立高校で行った教員のワークショップの様子。



いて勉強したことが本当に通じるのか試してみたかったから。あと、「子どもの力を信じよう」と呼びかけてきた自分が本当に彼らの力を信じられるのか見たかったんです。それまでは専業主婦でした。

……結果はどうでしたか？ これまでの勉強は間違いなかったと強く思いました(笑)。……何かエピソードを聞かせてください。

子どもがケンカをした時、大人はつい仲裁に入り、「仲良くしようね、はい握手」とやりがちですが、そうではなく子ども自身に、問題解決能力があるから、二人の気持ちを仲介する人になろうというのがこれまで学んできたことでした。でも仲介するには忍耐強くなくてはならないし、つい子どもの先に回ってしまう自分があります。

……仲介するとは具体的にどうするのですか？

まず叩かれた子Aに気持ちを聞きます。Aが「痛かった」と言えば、叩いたBに「痛いつて」と伝えます。そしてAに「痛かったことを自分の言葉でBに伝えてごらん」と言います。BはAが痛いんだろうと想像はついているんですが、面と向かって言われると結構ショックなんです。相手が痛かったということがわかったら、次はBに叩こうとした時の気持ちを聞きます。「なぜ、やったの？」と聞くと行動を責めていることになりまますから、叩くまでの気持ちの変化を聞きます。Bが「おもちゃを取られて腹が立った」と答えたら、「その気持ちをAに伝えて」と、この作業を続けていきます。こうすると自分の気持ちを相手に聞いてもらえた、認められたということで、トラブルが起きにくくなります。同じことを繰り返さないわけではないんですけど。

……表面的に仲直りさせてもダメなんですか？

悔しかった、痛かった、哀しかったというその時の気持ちを誰も取り上げてくれないじゃないですか。大人もただ話を聞いて欲しい時がありますよね。子どもも同じです。今の子どもはすぐキレルと言われますが、仕方ないですよ。自分の気持ちを表現する言葉をそれ以外に知らないんですから。その気持ちは「悔しい」と表すんだ、「悲しい」と言う言葉を使うんだということを大人が考えさせないようにしてきたんです。自分の気持ちをきちんと表せるようになるとイライラが無くなって、穏やかになっていきますよ。

……今後はどんな活動を考えていますか？

障がいを持つ人たちと生活しようと思っています。知的障がいのある人が生活の自立を目指すグループホームで、お風呂の介助や、料理を手伝ったりということはこの3月から始めます。理由は学童保育の時と同じ。彼らの素晴らしさを体験してみたいから。でも、何をやるにしても、おおもとは人権。環境も、まちづくりも、それは同じです。

エンパワメントみえ

住所/211-0068 桑名市中央町1-8 東和ビル2階

市民活動共同センター内

Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733

志治優美さんはこの人を紹介します。

江 京子(いりえ・あつこ)さん

「思いは伊勢湾に、行動は台所から」をキャッチフレーズに、明和町で活動している『いもっこ』のメンバーです。

お
ね
が
い

市民活動ニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

(2)送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動ニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail open@mienpo.net

転載を希望される場合は必ずNPOチームに連絡してください。

R100

PRINTED WITH
SOYINK

古紙100%、白色度83.5%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。